

園たより

ひかりのこ

尚絅幼稚園

お
生がる春

2010/5/11

園長 岩倉政成

「ねえ、見て見て、歯とれたよ」と職員室に駆け込んできたAちゃんの後ろから「僕もとれたもん」といってGくんも入ってきました。

「どれ、見せて。おー、抜けてる抜けてる」。抜けたのをただ見るだけでは歯科医も園長も勤まりません。抜けた後に生えてくる大人の歯を、歯ぐきのふくらみから探してみます。



「あつたー」。大人の歯の先っちょが歯ぐきから顔を出しています。新しい歯の芽吹きを子どもと一緒に喜びます。

乳歯にはもともと骨より硬い長い根っこがあったはず。それがいとも簡単に抜けてしまい、とれた歯には根っこが残っていません。子どもが自分の体の中で硬い歯の根をぼりぼりと食べる細胞を作って根っこを溶かしてくれたからです。歯科医が力まかせに抜くのではなく、子ども自身の力で抜き去りました。顔も体も成長し、サイズが小さくて不要になった乳歯を脱いで、大きな大人の歯に衣替えします。

東北のことばでは、歯がはえることを「^お生がる」といいます。

年長児に次々と永久歯が生えてくる様子は自分の力で^お生がろうとする活気に満ちあふれています。子ども達一人一人の中にある^お生がるちからを信頼し、それを引き出し豊かにしていく幼稚園づくりに職員一同で取り組んでいます。

園を囲む自然も園児に負けじと次々と芽吹き花咲いています。

この、春の勢いにあふれた園にどうか保護者の皆さん、足を運んで来てください。

そして、つい忘れがちな私たち大人自身が^お生がる営みを、子ども達に負けないで見せてあげましょう。

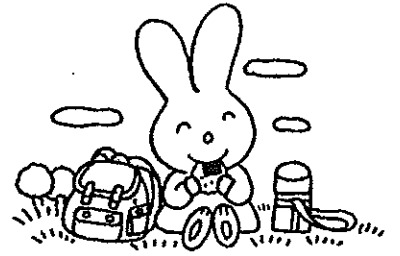
お知らせ

- ◆ もうすぐ遠足です。みんな楽しみにしています。

年少組・・・5月17日(月) 場所:名取市消防署高館出張所、東北電力名取
スポーツパーク

年中組・・・5月18日(火) 場所:第一臨空公園

年長組・・・5月19日(水) 場所:海岸公園冒険広場



- ◆ 準備実習生が17日(月)～28日(金)まで入ります。

尚綱学院大学女子短期大学部 保育科2年生、42名です。
よろしく願いいたします。

- ◆ 2010年度 未就園児の会「プラム」の受付が始まりました。

定員にまだ余裕がありますので、お知り合いの方を是非お誘い下さい。
「こうめクラブ」は13日(木)スタートです。

- ◆ 発育カードについて

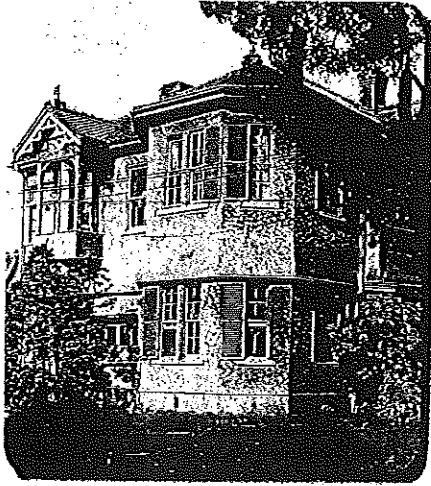
歯科健診、内科健診、尿検査、ぎょう虫検査の結果等が揃いましたら、発育カード
に記入後配布いたします。
なお、歯科検診、内科検診の日に欠席された方は、後日受診して頂くことになりま
すので、後日案内を配布いたします。

- ◆ 廃材について

ご家庭で使用しないものがありましたら、ご協力をお願いいたします。
牛乳パック、ヤクルト・ゼリー・プリンなどのカップ、お菓子の空き箱、花かご、リボン、
紙袋、スーパーのビニール袋等、何でも結構です。子ども達が、工作やままごと、
砂遊びなどにも使います。
使い古しのタオルやバスタオルがありましたらご協力下さい。足拭きマットや雑巾
などに使います。
使用しない新しいタオルがありましたらご協力下さい。商店などの名前の入った
もので結構です。



◆ 尚絅の教育の原点 『エラ・オー・パトリックホーム』



仙台の街中に佇み、歴史を漂わせる この
エラ・オー・パトリックホームは、外国人が設計
した洋風建築でありながら、日本人の大工が
その技術を細部にわたって取り入れた
貴重な建物で、1996年に『仙台都市
景観賞』を受賞しています。

実は私は、28年前、尚絅幼稚園で教育実習をさせて頂きました。当時はまだ
現在の中学校・高等学校と同じ広瀬町に園舎がありました。その年はちょうど
尚絅創立90周年にあたり、幼稚園でもお祝いムードが少しずつ高まっていました。
子ども達には“尚絅女学院のお誕生日”という説明をしましたが、いったい誰が90年
なのか、又、“90年”という年月がどのくらい厚みのある歴史なのか、今ひとつピンと
こない様子でした。そこで、担任の先生と相談をして、中高キャンパスの一隅に保存されて
いた『エラ・オー・パトリックホーム』に探険に行くことにしました。

『エラ・オー・パトリックホーム』とは、1896年に尚絅女学会の校舎として建設された建物で、
生徒やバイブルクラスの教育・訓練・生活のために、女性宣教師たちの努力により建てられた
施設です。名称は、一生のほとんどを病床で過ごしながらもキリスト教による女子教育に尽力し、
又、建築資金の援助に特に功績のあったミスエラ・オー・パトリックを記念してつけられました。

そんな由緒ある建物とはいえ、実習当時からもうすでに荒れ果て、足を踏み入れるのは少々
勇気のいることでした。実際中に入ると、歩くたびにギーギー・ギンギン、床は今にも抜けそうで、
薄暗くてほこり臭くて、おまけにカビ臭い建物は、まるでお化け屋敷のよう…。子ども達が
キャーキャーと興奮して声をあげていたことが昨日のこのように思い出されます。

そのエラ・オー・パトリックホームが、いよいよ復元され、名取キャンパスに移されます。尚絅の
シンボルとして、凛とした姿がよみがえった時、子ども達がどんな歓声をあげるのか、今から楽しみです。

甲原園子



ゆりぐみクラスだより

2010.5
清野

新年度が始まり、1ヶ月が過ぎました。はじめは、とても緊張していた子ども達ですが、少しずつのびのびとした子ども達の姿がみられるようになりました。4・5月の子ども達の様子をお伝えしたいと思います。

4月 始園日

環境がかわり、ちょっと緊張しての登園。しかし元気に「おはよう!!」とあいさつが返ってきました。荷物の整理もササッとすませ遊び始めました。「先生、ソレーしよう!」「今日外で遊べる?」久しぶりの幼稚園で何をして遊ぼうかと遊ぶ気持ちマンマンの子ども達でした。


4月の雪

4月だというのに、雪の降る寒い日。しかし子ども達はそんな寒さにむんが負けません。元気に外にとび出していきました。山に行くとカタクリが沢山さいていたり、ふきのとうがニョキニョキ大きくなっているのを発見したり、寒いなかにも春を発見した1日でした。

片付けて部屋に戻ると「寒い。」「でも楽しかった!!」と笑顔の子ども達の姿がありました。

カタクリの花の模様

「先生!! おぎいんだよ! カタクリの花の中に模様がついてるんだ!」

見ると、 確かに 中心のところに濃い色のギザギザの色がついています。わがりにくい絵でスミマセン...

Y君その発見後、山のカタクリの花を調べてみたら、全部そうなっていることに気付いたそうです。

集まりで紹介したところ「ハ〜!!」と子ども達。後で見に行くと確認している人もいました。おぎい大発見でした。

年長さんの頑張り

新年長組にない、いろいろな場面で、年長さんらしさや年長としての意識を感じます。新学期当初は、「朝、バスで泣いている人いたよ、名前がわからないけど。」と教えてくれたり、外の砂場の遊具が出しっぱなしだと最終まで片付けてくれたり、毎日 プレイルームやホールの様子をチェックしてくれたたり。

年長組として日々 頑張り続けている子ども達です。

リレーのチームわけ

年中の時からリレーが大好きで、友達と誘い合って遊び始める姿がみられます。
「お青チーム!」「ぼくも!」「〇〇くんも青に入って!」「すごい!白いないじゃん!」
グループにわかれる時にみんなの鬼いがぶつかり合います。時には、うまく決まら
ず、「や~めた。」ということも。

しかし、そのもめることが、子ども達にとってとても良い経験になると思います。
お互いに、自分の気持ちを伝え合ったり、相手の気持ちを知り、考えたり、カヤンしたり。

リレーだけでなく友達と一緒に遊んでいく中で、もめごとがみられますが、その一つと
つを良い経験として積みかさねていけるように、みていきたいと思っています。

虫取りの季節

あたたかな日中は、「虫取り」です! この時期をバ待ちにしていた子ども達は、
「虫取りに行ってくるね!」と外にとび出して行きます。

ただ今、熱心に集めているのは「ダンゴムシ」です。子ども達、沢山いる場所
をよく知っていて、石の下や側溝の落ち葉の下、木のきりがぶのまわりなどで、よく
採集しています。

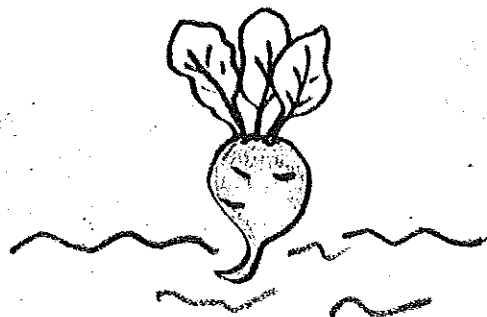
また土を掘っていると幼虫も出てくるのですが、子ども達は「これはカゲトの幼虫
だから飼ってみよう。」と虫かごにて飼育中です。

畑で言式運転

昨年買った、耕うん機の言式運転をしました。子ども達 みたことがないとい
うことで、興味深々です。運転してくれたのは園長先生とバスの鈴木さん。
はじめはカチカチに固かった土が耕されてフワフワになっていく様子を見て
「ふかふか、触ってみてもいい?」

「寝てみた〜いい!」

さて、今年は畑にどんな野菜を植えていくか。クラスで相談をしていき
たいと思います。



お誕生表作り

年長組のお部屋について、懇談会でくつ箱やコップ、タオルかけにタオルがないことはお伝えしましたが、壁面の誕生表もありません。お誕生表がないことを子ども達に伝えると、「じゃあ作ろう!」という声と「いらない。」という声がありました。

次の日に、作ったほうがいい理由と いらない理由を聞いてみました。

◎ 作ったほうがいい理由

- ・いつもみていたい
- ・みんなの誕生日を覚えてもらえる
- ・ゆりくみのお部屋がきれいになる
- ・はらないと忘れちゃう
- ・作らないより、作ったほうがいいから

◎ 作らなくてもいい理由

- ・はがれるから
- ・かびようが、とれるから
- ・友だちの誕生日を覚えているから

子ども達 1人ひとり、しっかり考えていましたし、意見もちゃんと言いうことができていました。

また1後日、どうやって決めたらいいかと聞いてみると、はじめ多数決の意見が出ましたが、S君が手をあげ「昨日、つくらないと言ったけど、作ってみたくなった。」と意見を出しました。すると数人の子どもが、「私も」「僕も」と気持ち伝えてくれました。

そこで、再度話しすると、作らなくてもいいという考えの人が2人、CちゃんとMちゃん。考えはかわらないとのことでした。すると「ねえ、一緒に作ろうよ。」「元氣張って作ろうよ。」とクラスの子も達からの声。

仲間の声ってすごいですね。友達の声があったからだと鬼いほお、CちゃんとMちゃん「作ってみようかな」という気持ちになってきたそうです。

これからの一年間、行事に向けての相談、おやつメニュー決め、クラスでの問題を考えていく等、いろいろな話し合いがもたれることと鬼います。31名の意見をどうまとめていくか、話し合いの活動で、子ども達がどんな経験をしていくか、これからも大切にみていき進めていきたいと鬼います。

～その後～

誕生表を どんな模様にするか、何で描くか、どうやって貼るかなど相談しました。

唯今、作成中であります。

なんと、私に課せられたこともあるのです。それは、みんなの乗る

「船」を作ること。「先生は船を作って!」の声に。

(よし、私も クラスの一員としてみんなの乗る船を作るぞ!!) という気持ちになっております。

クレヨンと絵の具がいっぱいある。

船!
みんなが船に
のっているかえじ!

うまれに月ごとにわけて
船にのせて貼る。

